

## 第2章 調査の結果

調査結果について説明する。各質問の性・年代別の単純集計は次ページ以降のようになっている。各選択肢を選んだ割合(%)を表示している。重複回答の場合は合計が100%を超えている。Fig.1からFig.12は各質問の回答率のヒストグラムである。凡例で系列1、系列2等は選択肢1、選択肢2等とそれぞれ対応している。

地域別、学歴別、職業別についても集計すべきであるが、本解析では年齢の違い、性の違いで薬物の認識がどのように異なっているかに焦点をあてたいと考えている。地域別等については第3章で質問12の回答についてのみ分析を行っている。

質問1 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか（知っているものが複数ある場合は、その全てを教えてください）

1. 覚せい剤(シャブ、S、スピード)
2. 大麻(マリファナ、ハシッシュ、大麻樹脂)
3. コカイン
4. クラック
5. ヘロイン
6. あへん
7. MDMA・MDA(エクスタシー、ラブドラッグ)
8. LSD
9. シンナー
10. 知っているものはない

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男・16～19歳	79.6	77.6	83.7	18.4	77.6	89.8	24.5	40.8	91.8	4.1
20歳代	98.7	96.2	92.3	29.5	88.5	83.3	29.5	69.2	92.3	0
30歳代	93.6	93.6	96.2	50.0	93.6	92.3	41.0	64.1	92.3	1.3
40歳代	92.5	95.3	93.4	35.8	89.6	92.5	30.2	59.4	98.1	0
50歳代	92.9	92.1	88.6	28.6	87.9	91.4	21.4	49.3	87.1	1.4
60歳以上	76.0	81.1	82.0	15.0	79.0	84.5	11.6	21.5	85.8	4.3
女・16～19歳	91.7	77.1	83.3	4.2	64.6	75.0	20.8	14.6	89.6	2.1
20歳代	94.4	93.3	90.0	21.1	76.7	78.9	24.4	41.1	94.4	0
30歳代	96.2	92.3	95.4	20.0	86.9	80.0	25.4	36.2	93.1	0.8
40歳代	94.9	94.9	93.6	23.7	86.5	88.5	25.0	52.6	91.7	1.3
50歳代	86.7	88.2	82.6	12.3	77.9	87.2	11.3	27.2	93.8	0.5
60歳以上	73.7	67.6	62.0	4.7	59.6	80.3	4.7	7.0	76.5	6.1

覚せい剤のみならず、男女とも60歳以上が薬物の名称についての知識が少ないことが分かる。これは、薬物と関係のない人生を歩んでおり、かつ新しい情報が入って来ていないためだと思われる。特に60歳以上の女性は比較的新しいタイプの薬物を知らないようである。他の年齢層では、クラックやMDMAなどはあまり知られていないが、覚せい剤・大麻・あへんの名称を知っている者の割合は高いものになっている。覚せい剤について気になるのは男の16歳から19歳の者の内79.6%しか覚せい剤を知っていると答えていないことである。女性の同年代のもの比べて10%も低くなっており、低すぎるのではないかと思う。さらに、このような回答にもかかわらず、覚せい剤を使用している人を知っていると答えた人の割合（質問12）が高いのは一見矛盾のように感じるかもしれないが、16歳から19歳程度では社会情報の取り入れの程度のバラツキが大きく、知識が過剰にあるものほとんどないものが入り交じっているためであると思われる。

Fig.1

質問1(性・年代別集計)

